



舞鶴っ子

No.11

子ども版
「広報まいづる」



日本の海を守るさまざまな艦艇

海上自衛隊には、護衛艦をはじめ、海底地形・底質などを調べる海洋観測艦や潜水艦の航路を把握するために重要な、各国の潜水艦のスクリーニングの特徴を把握する音響測定艦「しりしり」や有名な南極観測支援を任務とする砕氷艦など、さまざまな役割を持つ艦艇があるんじや。今回は、舞鶴地方総監部に所属する14の主な艦艇の中から、いくつかを紹介しようかの。

日本は、四方を海に囲まれ、世界第3位の長い海岸線(世界第6位の広大な排他的経済水域※1)を持つ。そのため海上の安全確保はとても大切じや。海の要所の一つとされた舞鶴には、明治34(1901)年に鎮守府が置かれ、今は地方総監部になっている。

艦艇が停泊する北吸棧橋は、直線距離で約900mもあり、海自では一番長いんじや。艦艇が国道沿いに並び並ぶ姿は壮観じやのう。何度見ても良いもんじや。

まずは、艦番号181の護衛艦「ひょうご」じや。舞鶴地方総監部の中で最も大きい護衛艦じや。甲板に平らな部分が多いのは、ヘリコプターの



護衛艦ひょうご(全長197m、乗員約350人)
提供：海上自衛隊

発着に使用されるからで、これがほかの艦と違うところじや。基本、ヘリは3機搭載してあるが、最大で約10機も搭載することができるぞ。もう一つの特徴は、多目的スペースのほかに手術室や診察室、集中治療室などの医療スペースがあることじや。大規模な災害が起こった時には、動く病院としての役割も持つてある。陸から被災地に行くのが難しい時などは、海からたぐん人の食料などの物資を運ぶこともできるんじや。頼もしいお。



護衛艦あたご(全長165m、乗員約310人)
提供：海上自衛隊

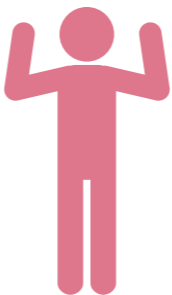
が4方向についているから分かりやすいぞ。名探偵コナンの映画にも出ておった。このレーダーで360度全周を探知できるんじや。あたごの特徴は、イージス装置を備えたミサイル搭載の大型護衛艦で、空からの攻撃に対応する。ヘリコプター格納庫もあるぞ。コンピュータ制御による自動戦闘システムで、あらゆる方向から飛んでくるミサイルなどから船を守るため、強力なレーダーを使ってミサイルで迎撃することが可能なんじや。すごいじやろー!「イージス(Aegis)」も付けられた理由は、ギリシャ神話の中で最高神ゼウスが娘アテナに「おれたちの盾アイギス(Aegis)から、この盾はあらゆる邪悪を払っていわれてる。ミサイルを搭載してるがあくまで迎撃用で防御のために使われるん



ホットな健康情報をお届け!

マイ健康通信

健康づくり課 ☎65・0065



元プロ野球選手の衣笠祥雄さんやフリーアナウンサーの小林麻央さんなど、がんで亡くなられた方の訃報を新聞やニュースで知ること多いと思います。一方で面白いタレントの宮迫博之さんは、胃がんを発症しましたが、早期発見だったためがんを克服し、現在も活躍されています。がん治療において早期発見はまさに生命線。早期発見とがん検診の大切さについてお知らせします。

2人に1人はがんになる

国立がん研究センターによると、生涯でがんになる確率は、男性62%、女性46%。2人に1人はがんを経験する確率であり、自分は大丈夫だろうと他人事ではいられません。

早期発見で高い生存率

がんは、日本人の死亡原因の第1位であり、多くの人に恐れられている病です。一方で、早期発

本当に怖いのはがんに気付かないこと

内閣府の調査では、がん検診を受けない理由の第一位は「受ける時間がないから」でした。仕事や家事、子育てなど忙しい毎日のなかで、つい自分自身の健康のために時間をとることが後回しになりがちです。

また、「がんであると分かるのが怖い」という理由が女性に多くみられます。検診を受ける結果を待つ間、テレビドラマで見たような医師にがんを告げられる映像が頭の中に浮かんでくる。そういった怖さもよくわかります。しかし、がんは進行すると生存率が著しく低下するだけでなく、臓器の摘出や乳がんによる乳房の切除などは、治療後にも肉体的、精神的に大きなダメージを負うこととなります。

皆さんの命を守るがん検診

がんの種類	生存率(進行後)ステージIV発見	生存率(早期)ステージI発見
胃がん	8.0%	97.6%
大腸がん	15.1%	99.4%
子宮頸がん	22.2%	92.2%
肺がん	4.8%	80.3%
乳がん	33.3%	98.8%

早期発見で生存率は大幅に上昇↑↑

検診の精度も治療の技術も進歩しており、「がん」は治らない病ではなくなりました。一方、進行したがんはいまだに生存率が低く、手術や投薬治療などの負担も相当大きいものになります。本当に怖いのは「がんに気付かず、がんを進行させてしまうこと」といえるかもしれません。

検診は最大の防御

仕事や子育てが忙しい…。受診結果を待つのが怖い…。など、さまざまな事情や思いがあるかと思えます。しかし、検診を受けないうちにがんが進行していたとすれば、仕事も続けられなくなるかもしれません。そして、大切な家族と過ごす時間さえも失ってしまうかもしれません。がんが進行する隙を与えないことが、がんへの最大の防御です。皆さんの大切な命を守るためにがん検診を受けましょう。「なぜあの時検診を受けなかったんだろう」と後悔する前に。

がん検診の受け方

◆職場で受診する…職場の健康診断の際に申し込んで受診してください。
◆市のがん検診を受診する…がん検診の案内を市民の皆さんに送付します。内容を確認して受診してください。

がん検診の案内は、40〜74歳は5月下旬〜6月上旬(国保加入者には特定健診の案内などを同封に、75歳以上は8月〜9月上旬(後期高齢者医療健康調査の案内などを同封)に送付します。何を受診したらいいか、どうして申し込むかなどわからないことがあれば、健康づくり課へご連絡ください。

健康教室と相談カレンダー

健康づくり課 ☎65・0065

	対象	日時	内容	定員	料金	申し込み
健やか育児相談	乳幼児の保護者	6月18日(月) 9時30分~11時	◆育児の悩み相談 ◆歯・食事の相談 など	なし	無料	不要
歯っぴースマイル教室 (2歳児むし歯予防教室)	2歳6か月児	H27.11.13~12.7生まれ	◆歯の話 ◆歯科健診 ◆フッ素塗布	先着 各20人	300円	前日までに 電話で
	2歳児	H28.5.29~6.15生まれ				
	2歳6か月児	H27.12.8~12.28生まれ				
	2歳児	H28.6.16~7.4生まれ				
離乳食教室	5~6か月児の保護者	6月22日(金) 14時~15時30分	◆離乳食の話と試食	先着 15人	無料	前日までに 電話で
助産師相談	妊産婦、新生児・乳児	6月20日(水) 9時~11時	◆妊娠中の相談 ◆産後や子育ての相談	なし	無料	不要

じや。盾のまっしに身を守るというんじやな。わしら武将としての鑑かぶとみたいもんじや。
舞鶴にはもう一隻の「イージス艦」、17番の「ひょうご」も所属する。最後は、掃海艇じや。海中の機雷(※2)を取り除く役割をしてる。艦艇という丈夫な鉄でできてると思っただけ、掃海艇は昔は木で造られておったんじや。機雷は鉄を察知して爆発するから反応しないんじや。今も木で造ったんじや。今も木も丈夫で軽長持ちする強化プラスチック(FRP)製が主流じや。機雷の性能がよくなって、水圧や音にも反応するようになってくるから振動や音をいかに減らすかが重要なんじや。

※1 排他的経済水域…海岸から最大200海里(約370km)までは、他の国は海中資源(魚など)や海底資源(石油など)の開発や管理、探査をすることができない。
※2 機雷…船が接近したり接触すると爆発する水中兵器